

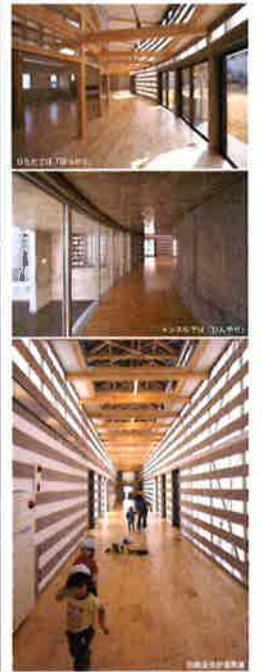
WOOD(ずだじこども園) 一直に突りあるサステナブル建築の提案一



1. サステナブル社会におけるWOODの意義

WOODは、紙の原料である木質繊維の産地である。地産地消を推進し、持続可能な社会を構築する中で「ゆらぎのある暮らし」を提案する。WOODは、建築そのものが自然の恵みを享受し、環境と共生する建築となることを目指す。

環境・経済・社会の「総合的なバランス」と案件価値を高める。WOODは「自然の恵み」をテーマとし、自然素材「木質繊維」を建材として、木質繊維の活用を推進する。WOODは「自然の恵み」をテーマとし、自然素材「木質繊維」を建材として、木質繊維の活用を推進する。



2. 光壁 (壁面透過採光、ダブルスキン)

WOODはWOODのデザインの特徴を強調している。光壁は、壁面透過採光とダブルスキンを採用し、自然光を室内に導入する。WOODは、壁面透過採光とダブルスキンを採用し、自然光を室内に導入する。



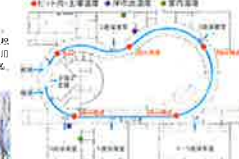
3. 設備・構造計画

WOODは、設備・構造計画を重視している。WOODは、設備・構造計画を重視している。WOODは、設備・構造計画を重視している。



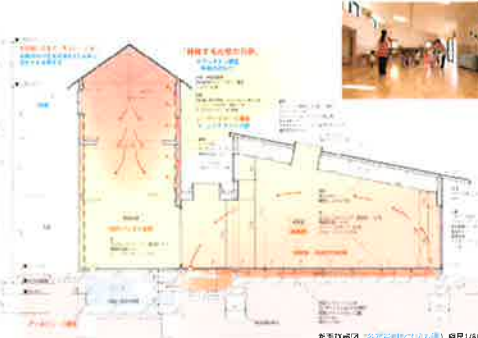
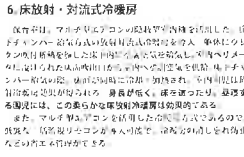
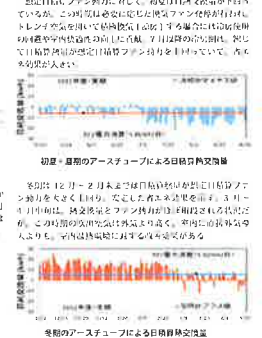
4. 熱的ゾーニング

WOODは、熱的ゾーニングを採用している。WOODは、熱的ゾーニングを採用している。WOODは、熱的ゾーニングを採用している。



5. アースチューブ換気

WOODは、アースチューブ換気を採用している。WOODは、アースチューブ換気を採用している。WOODは、アースチューブ換気を採用している。



6. 床放射・対流式冷暖房

WOODは、床放射・対流式冷暖房を採用している。WOODは、床放射・対流式冷暖房を採用している。WOODは、床放射・対流式冷暖房を採用している。



7. 壁構造体利用によるダブルスキン

WOODは、壁構造体利用によるダブルスキンを採用している。WOODは、壁構造体利用によるダブルスキンを採用している。WOODは、壁構造体利用によるダブルスキンを採用している。



8. 天井層によるサーキュレーション

WOODは、天井層によるサーキュレーションを採用している。WOODは、天井層によるサーキュレーションを採用している。WOODは、天井層によるサーキュレーションを採用している。



9. エネルギー消費原単位

WOODは、エネルギー消費原単位を採用している。WOODは、エネルギー消費原単位を採用している。WOODは、エネルギー消費原単位を採用している。

項目	数値	単位
冷熱消費原単位	861	kWh/m ²
暖熱消費原単位	588	kWh/m ²
給湯消費原単位	60	kWh/m ²